

令和2年 第11回(定例会)

厚真町教育委員会会議録

1 開会

令和2年8月26日(木) 午後2時30分

2 閉会

令和2年8月26日(木) 午後3時40分

3 出席委員の氏名

遠藤 秀明 佐藤 泰夫 池川 徹 金光 えり 長門 茂明

4 委員及び傍聴人以外の会議出席者氏名

生涯学習課長 宮下 桂 生涯学習課参事 甫 一樹

5 会議録署名委員の指名

(長門 茂明)

(金光 えり)

6 教育長報告

(1) 行事参加等の動向 (資料1)

(2) 第11回厚真町議会臨時会 (資料2)

・令和2年度一般会計補正予算

【 質疑 】

長門委員 : 学校に網戸はないのか?

宮下課長 : 小学校にはない。

長門委員 : 中学校に網戸を設置した際、小学校にも設置しなかったのか?

金光委員 : 各教室の窓は4か所あるが、1か所しか網戸がついていない。窓を開けると今の時期蜂が入ってくる。網戸のない所は開けられない。

長門委員 : 今までは網戸なしで窓を開放していたということか。

金光委員 : 網戸がないところは、内窓と外窓を互い違いにするなど工夫している。

長門委員 : これで4か所すべてに網戸が設置されるということか。

- 宮下課長 : すでに発注済みで9月頭には完了予定である。
- 遠藤教育長 : 換気効果を高める扇風機もこの予算に含まれている。
- 長門委員 : 中学校にも扇風機は導入されたか？
- 宮下課長 : 中学校にも導入されている。
- 長門委員 : 具体的には網戸と扇風機が今回の補正予算ということか？
- 宮下課長 : 扇風機の導入費用も含め、他にも今後3月までに必要となる衛生用消耗品や学びの保障に必要な物品の購入費である。
- 池川委員 : 消毒液などということか？
- 宮下課長 : そういったものを含め校長裁量の学校配分予算として1校200万ずつの配分した。その半分に国庫補助金を充当できる。一方の一般財源1/2分は、調整段階であるものの地方創生臨時交付金を充当できることとなっており、うまく調整がつけば、町の持ち出しはほとんどなく事業を実施できる。扇風機や各校共通で使用する衛生用消耗品分を除いた残り各校120~150万くらいの裁量経費を割り当てており、現在その用途について学校で積算中である。

5 所管報告

学校教育グループ・学校給食センター

- (1) ICT教育（オンライン教材「eライブラリアドバンス」導入時）研修会／8月3～6日
各校1回／全教員参加
- (2) 学校監査（8月3日、上厚真小学校・厚南中学校）について
- (3) 厚真町防災学習企画担当者研修会／8月6日 13:30～16:30／日高幌内沢山体崩壊現場等／各小中学校教諭21人参加
- (4) 令和元年度会計決算審査（8月20日）について
- (5) 第2回厚真町教育委員会外部評価委員会（8月25日）について (資料3)

社会教育グループ

- (1) 放課後子ども教室・あつま土曜楽校夏休み特別教室「大自然満喫川遊び」
8月2日（日）／むかわ町穂別 平丘地区鷓川 /23名参加
- (2) 「世界の昆虫展」8月6日（木）～8月17日（月）青少年センター
期間見学者159名
- (3) 令和元年度会計決算審査（8月20日）について

【 質疑 】

- 池川委員 : 防災研修会は任意参加か？
- 宮下課長 : 防災教育の企画を担当する先生や震災を経験していない新任の先生を中心に各学校で希望者を募った。
- 池川委員 : 全部で教職員は何人？

- 遠藤教育長 : 一般教諭は54人である。
池川委員 : 半分弱程度の参加率ということか。
宮下課長 : そのとおりであるが、参加者の一部に管理職や養護教諭も含まれているので参加率はもう少し低い。

6 議案

議案第1号 令和3年度使用教科用図書の採択について

【質疑なし】

7 同意

同意第1号 厚真町教育委員会表彰について

【異議なし】

8 協議

(1) 教育委員会の活動状況に関する点検・評価について (資料4)

【質疑】

- 池川委員 : 外部評価で指摘があった厚真高校の振興策について、今後外部のコンサルをいれる予定か？
宮下課長 : そのとおりである。
池川委員 : 予算はこれからになるか？
宮下課長 : 9月定例議会に関連補正予算を計上する予定である。

9 その他

(1) 教育委員学校訪問 (10月) について

(2) 今年度文化祭の現段階での状況

【質疑】

- 池川委員 : 教育委員学校訪問は、特別な接待は必要ないと学校に伝えてほしい。
遠藤教育長 : この訪問のための特別な資料作成は必要ないと伝えている。できるだけ素の学校の姿を私たちが邪魔をしない程度に見ることが本来の趣旨である。普段の様子を見て、感じたことを素直にぶつけ、またお返しいただくという機会にしたい。とはいえ、学校側もまったく気を使わないでという話にもならないだろう。できるだけ普段通りの様子を見せてほしいと改めて伝えておく。
池川委員 : 先週産業経済課からコロナ対策として町内行事の自粛要請が発出されていたが、教育委員会の行事に関し、町から同様の要請等は来ていないのか？今後9月以降の学

- 校行事などはどうなるのか。
- 遠藤教育長 : 学校教育活動に関しては、あくまで3密を避けるなど感染予防・拡大対策は前提としたうえで、できる限り従来通りの形で進めていくこととしている。学習発表会についても、ブロック分けしたり、入場制限を設けたりなど工夫しながら実施する方向で準備を進めている。
- 宮下課長 : 中央小では、9月中旬に運動会の代替行事をブロック分けして実施する。
- 長門委員 : 修学旅行はどうか？
- 宮下課長 : 修学旅行も実施時期や訪問先を変更し実施予定である。
- 池川委員 : どこへ行くのか？ウポポイにもいくのか？
- 宮下課長 : 中学校は道内で、網走方面と旭川方面だと聞いている。ウポポイは、修学旅行とは別に利用予定である。
- 遠藤教育長 : 中央小は函館方面である。道教委の通知等を踏まえて学校ごとに工夫している。厚真地区と中央地区では規模も異なるし、学校ごとに実態に応じて考えていくということ。
- 池川委員 : 防災教育も兼ねてどこかでキャンプさせるということも考えてはどうか？
学校でサマーキャンプみたいなものはやっていないのか？
- 宮下課長 : 林間学校ということであれば、小学校5年生は宿泊研修を実施する。
- 池川委員 : 学校で実施するのか？
- 宮下課長 : 国立の集団宿泊施設で実施する。
- 池川委員 : 昔は体育館に泊まったりした経験があるが、そのような行事はないのか。
- 宮下課長 : PTA 行事や学年レクで企画すれば可能性はある。
- 金光委員 : 小学5年生は明日から宿泊研修で日高青年の家に行く。夏は放課後子ども教室でサマーキャンプに類する活動があると承知している。
- 宮下課長 : 夏休みは社会教育事業で実施している。
- 池川委員 : 先輩がやっているのを見て非常時の技術などを経験として身に付けていくような環境をつくってあげるといった、ボーイスカウトのような活動が防災教育としてもよいのではないか。
- 遠藤教育長 : 例えば冒険の杜整備事業などまさに今幼少期の段階からそういったものをいろんな角度、場所で経験させようと学校教育・社会教育で一緒になってやっている。少しずつ地域の中に浸透していけると思っているし、進めていきたい。
今年度計画している事業予算の大部分がコロナの影響で消化されない可能性がある。別の形で実施していくことも考えていく必要があるようだ。町民体育祭の予算もモノづくり体力づくりなどに使うことも可能性としてはあるのかと思う。

10 次回委員会の開催日程

- ・ 9月29日(火) 午後2時30分

11 閉会